

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2022/07/04

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	35.58	0.28
JPY/THB	0.2631	0.0030
USD/JPY	135.21	-0.51
EUR/THB	37.08	0.06
EUR/USD	1.0414	-0.0070
USD/CNH	6.697	0.003
SGD/THB	25.45	0.04
AUD/THB	24.26	-0.12
USD/INR	79.04	0.07
USD Index	105.14	0.45

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.428	-0.041
10Y (THB)	2.856	-0.043
5Y (USD)	2.878	-0.160
10Y (USD)	2.880	-0.133

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	1,801.5	-5.8
WTI (Oil)	108.43	2.67
Copper	8,048.0	-210.0

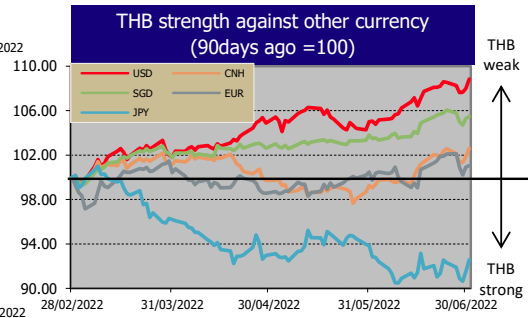
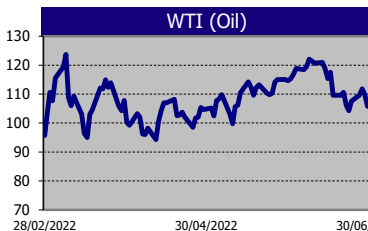
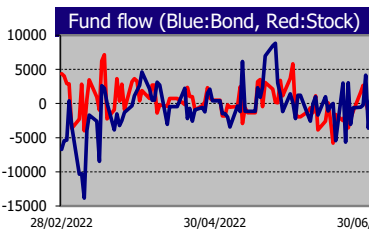
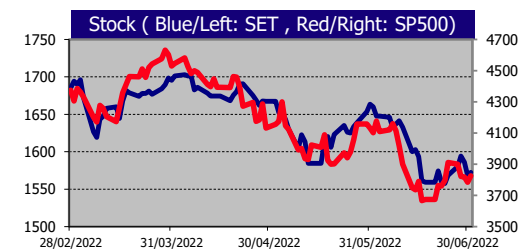
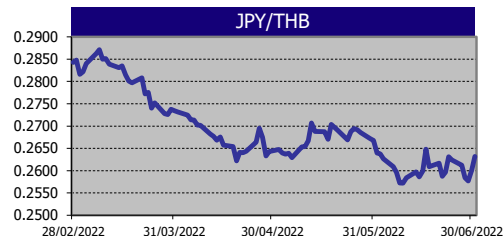
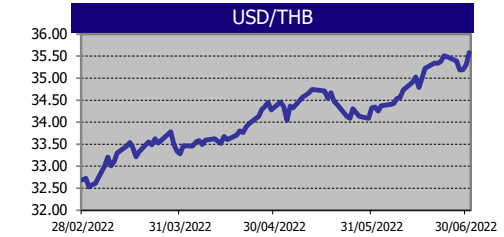
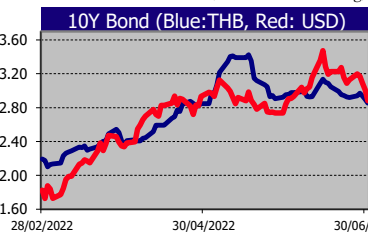
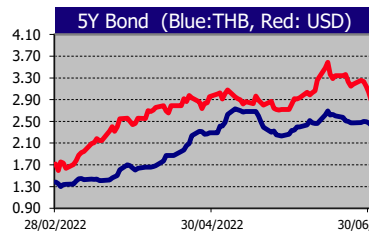
Stock

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,572.67	4.34
NIKKEI (JP)	25,935.62	-457.42
DOW (US)	31,097.26	321.83
S&P500 (US)	3,825.33	39.95
SHCOMP (CN)	3,387.64	-10.98
DAX(GER)	12,813.03	29.26

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(747)	621.6
Bond net flow	608	4197.1

*compared with previous day
(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

1日のドルパーツは35パーツ前半で取引を開始。米経済がリセッション入りすると懸念でセンチメントが悪化。ドル高が進む中、パーツは新興国通貨の対ドルでの下落を主導する動き。2017年1月以来の水準まで上昇し、そのまま海外時間へと渡った。海外時間では、米経済指標が予想を下回り、翌週にも控えている米経済指標への悲観的な見方から、ドルパーツは上伸して年初来高値を更新。その後は米祝日を控えて小幅に上げ幅を縮小、35.58で引けた。

●ドル円その他

1日のドル円は135円後半で取引を開始。世界経済の先行き懸念が高まる中で日経平均をはじめ、アジアの株式市場が総じて下落し、米金利も低下する状況に134円後半まで下落。その後は米金利持ち直しと共にバンコク時間終盤には135円半ばまで反発。海外時間、米6月ISM製造業景況指数が予想を下回る状況に米金利が大きく低下し、再び135円を割り込むが、米株が金利低下を好感してしっかりと推移すると135.21レベルまで戻して終えた。

Bangkok Dealer's Eye

先週は、パウエルFRB議長がインフレ抑制を最優先課題として金融引き締めを進めていく考えを示し、それに米経済指標が冴えない結果となったことが重なり、米景気後退懸念が一層意識される状況となりました。ドルパーツは中国での入国隔離条件緩和のヘッドラインを受けて一時35パーツ近辺まで低下していたところから反発し、米独立記念日による米休日を前にした週末だったにもかかわらず、オンショア市場では2017年1月以来の高値のまま引けています。今週は月初週ということで重要な指標が多く、これらの指標が予想を下回ったり、前分が下方修正されたりすれば、ドル買いに拍車をかけていく可能性があると思います。米6月CPIの発表はまだ翌週ですが、それを前に米6月ISM製造業景況指数が予想を下回っているため、米経済後退に対する警戒感が高まりやすい状況です。悲観的な見方から新興国通貨売りが続くようであれば、36台をトライしに行くという事態も十分あり得るのではないかと考えます。(鈴木)